

第4回「教師の専門職化フォーラム」のご案内

1 日時 平成29年2月19日(日)

2 会場 上越教育大学

3 テーマ

教育研究は教育実践に生かせるか？

4 目的

教員養成大学の教育研究成果を学校現場に還元させることの必要性が叫ばれて久しく、全国に教職大学院が誕生しつつある今日、その重要性は高まっている。文部科学省は、国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議を設置し、その審議過程においても、教職大学院における研究成果を地域へ還元させていくことの必要性が議論されている。

そこで、本フォーラムでは、学校現場と幅広く連携した学校支援プロジェクト等の研究成果の全国各地域への貢献について紹介するとともに、行政、教育センター、学校現場で活躍する専門家より今後の教育活動について示唆を得ることを目的とする。

5 プログラム

(1)開会式：301教室(9:40~9:50)

学長挨拶

趣旨説明(専攻長)

(2)分科会「研究成果と地域貢献」(10:00~12:00)

学校支援プロジェクト等による研究成果が、地域の教育活動に貢献している例を紹介する。

【第1会場：201教室】

①長野県宮田村の例：『学び合い』による授業実践の効果

西川研究室院生発表・宮田村教育委員会等による発表・質疑

②福島県石川町の例：ICTを活用した授業実践の効果

水落研究室院生発表・石川町教育委員会等による発表・質疑

【第2会場：302教室】

①上越市立安塚小学校の例：「クラス会議」による教育活動の効果

赤坂研究室院生発表・学校職員等による発表・質疑

②長野県総合教育センターの例：大学と教育委員会の連携による教員研修の効果

桐生研究室院生発表・荻野伸也教諭(五泉市立山王中学校)

理論編研修……長野県総合教育センター指導主事による発表

実践編研修……田澤岳哉教諭(飯田市立旭ヶ丘中学校)

(3)ポスターセッション：202教室(13:00~13:50)

学校支援プロジェクト等における協働研究や個人研究の成果を発表する。

(4)パネルディスカッション：202教室(14:00~16:00)

テーマ：教育研究は地域に貢献できるか？

パネリスト

牧野光朗(長野県飯田市長)

高岡信也(独立行政法人教員研修センター理事長)

川上康則(東京都立青山特別支援学校主任教諭)

赤坂真二(上越教育大学教職大学院教授)

コーディネーター

桐生徹(上越教育大学教職大学院教授)

(5)閉会式：202教室(16:00~16:30)

講評：柳澤好治(文部科学省高等教育局大学振興課教員養成企画室長)

コース長挨拶

(6)参加申し込み

氏名(ふりがな)、職名、勤務先機関名、住所、電話番号、FAX番号 を明記の上、

FAX又はE-mailにより【上越教育大学研究連携課(地域連携担当)宛て】お申し込みください。

また、申込みのために登録していただいた個人情報、今回の申込みに関する事務処理及びご案内・情報提供に使用し、他の目的には利用しません。

【申し込み先】

上越教育大学 研究連携課(地域連携担当)

TEL:025-521-3665,3669 FAX:025-521-3621

E-mail:kouen@juen.ac.jp

【申し込み締め切り】

平成29年2月3日(金)